

5 | 4 1 | 0

(包紙)

「中井与惣兵衛様 尾崎惣十郎

急用手形入」

5 | 4 1 | 1

(端裏書)

「與惣兵衛様 惣十郎

極内用」

以別紙得貴意候

然者

御前御内用先達

御沙汰被遊ニ付先便

申上候而何卒当年ハ

御止ニ被成候様ニ段々

申上候得共当春御出

兼之御様子ニ付

御手元より少し御増し

被遊御入湯其外有之

少々宛之御入増も被

為在候而当暮之御仕廻

殊外御指支被成御座

当春貴公様より御内々

御指上被成候御書附も

御座候付少しハ御引

当被成候而御払口々之

思召御書入ニ被成候旨

被遊御意候間定

与惣兵衛呵可申候へ共

厚ク 甚(勘カ) 弁吳候ニ

私より可申上候旨被仰付

極内御書御渡被成

何卒く亦々御出情

御考被成候而兩人より

操出し候処御取計

御指上被成候様格別ニ
御談事可申上旨被仰付候
間深田六ツ之内当暮
御談被成かたく思召
候処奉遠察候、定_而
御配意可被成奉存候
乍去当春大谷氏より
内存書御座候故無
扨申上候、厚ク御考
被成候_而御指被成候ハ、
私義も難有奉存候
とふそ御出情御指上可被成候
則御書御廻上候間
御頂戴可被成候、以上
十二月七日